

東日本大震災復興支援  
令和元年度 第44回  
秋田県近的選手権大会



と き	2019 年 10 月 20 日
と ころ	仙北市立角館町武道館弓道場
主 催	秋 田 県 弓 道 連 盟
主 管	秋 田 県 県 南 地 区



# 大 会 次 第

開	会 式				9:30 ~
	開 会 の こ と ば				
	優 勝 杯 返 還	(前年度優勝者 佐野恵実 選手)			
	あ い さ つ				
	競 技 上 の 注 意				
矢	渡				
射	手	教士七段	渡 辺 鐵 哉	(県連会長)	
	介 添	錬士五段	齊 藤 千 明	(県南地区)	
	介 添	錬士五段	山 谷 喜 元	(県南地区)	
競	技 (午前の部)	3回			10:00 ~
	1射場 5人立 四つ矢 5回20射 競技の間合い				
	昼 食 ・ 休 憩				12:30 ~
競	技 (午後の部)	2回			13:10 ~
閉	会 式				14:50 ~
	成 績 発 表				
	表 彰				
	あ い さ つ				
	閉 会 の こ と ば				

令和元年度 第44回 秋田県近的選手権大会 実施要項

- 1 主催 秋田県弓道連盟
- 2 主管 秋田県県南地区
- 3 期日 令和元年10月20日 開場 9時00分 開会 9時30分
- 4 会場 仙北市立角館町武道館弓道場  
秋田県仙北市角館町表町上丁6
- 5 競技種目 近的競技 (坐射・射距離28m・直径36cm霞的)
- 6 参加資格 秋田県弓道連盟会員で、地区選考を経た参段以上の成年男女。
- 7 競技方法 個人競技 各人20射(4射×5回)の的中順により順位を決定する。  
同中の場合は、射詰競射により決定する  
優勝決定戦以外は遠近競射により順位を決定する。
- 8 競技規定 本実施要項ならびに(公財)全日本弓道連盟「弓道競技規則」による。
- 9 表彰 1位～5位 1位 優勝盾\*・賞状・賞品  
2位～ 賞状・賞品  
\* 優勝盾は次年度返還
- 10 地区参加枠 県北地区 5名 中央地区 9名  
由利地区 5名 県南地区 5名  
前年度選手権者 1名 計 25名
- 11 参加料 1,000円 (大会当日各地区一括納入のこと。)  
当日、開会前に各地区一括納入すること。欠席の場合も納入すること。
- 12 参加申込 (1) 所定の申込書に記入のうえ申し込むこと。  
(2) 申込先 秋田県県南地区 藤原拓 宛  
E-mail lince-dvr@i.softbank.jp  
必ずE-mailで申し込みをしてください。  
(3) 締切日 令和元年9月29日(日) 必着のこと。
- 13 その他 昼食は大会事務局で準備いたします。

# 競 技 役 員

(順不同)

大会委員長	渡 辺 鐵 哉	
大会副委員長	三 浦 皓 光	
競技委員長	齊 藤 千 明	
審判委員長	皆 川 養 悦	
射場審判委員	山 谷 喜 元	
的前審判委員	齊 藤 千 明	
進行委員	藤 原 拓	
招集委員	高 橋 正 文	
記録委員	柴 田 文	
的前委員	千 葉 翔 太	
受 付	柴 田 文	阿 部 晃 之
総務委員長	藤 原 拓	
総務委員	阿 部 晃 之	藤 田 純 葵
矢 上 げ	射終えた選手の皆さんでお願いいたします	



東日本大震災復興支援

## 令和元年度 第44回 秋田県近的選手権大会

仙北市立角館町武道館弓道場

2019/10/20 (日)

入賞記録

20射

順位	記録	選手名	称号段位	所属地区	所属部会	備考
第 1 位	16中	松 村 仁 司	錬士六段	由利	仁賀保弓友会	射詰競射
第 2 位	16中	皆 川 養 悦	錬士六段	県南	湯沢大弓会	射詰競射
第 3 位	14中	石 井 めぐみ	四段	中央	あきた和弓会	遠近競射
第 4 位	14中	伊 藤 鉄 哉	教士六段	県北	男鹿弓道会	遠近競射
第 5 位	13中	菅 原 淳	参段	県南	湯沢大弓会	遠近競射